

こもれび・komorebi・木もれ日

総合建設
株式会社 日向建設 ひゅうが せつ
〒247-0061 神奈川県鎌倉市 1-10-4
http://hyuuga.co.jp どこまでが夢ですか
TEL 0467 (47) 5454 FAX 0467 (44) 0303

今月の
特集！

『快適な住まいづくり』 大規模リフォームのご紹介

今月の特集は、7月にリフォーム工事が終了したばかりの鎌倉市大船のY様のお宅です。快適な家にするための3つのポイント「耐震補強工事」「蓄熱式床暖房」「自然素材を使用」が全て備わった理想的なお宅になりました。



◆使うほどにどんどん味わいが出る『自然素材』。
木のぬくもりを感じる家づくり。

「この玄関の扉、とても趣がありますね！」
「そうですね。この扉の材木には『ひば』を使っています。塗料は『柿渋』を塗っているのですよ。柿渋は、防虫性や防水性等すぐれた特徴があります。雨にも強いので屋外にも安心して使えます。どんどんいい色に変化していきますよ。また、床下の木材には、害虫を寄せつけないように 木酢液(竹酢液)を塗りまし

た。『自然素材の良いところは、人体への安全性はもちろんですが、いちばんの魅力は『時が経つごとに味わいが出てくる』という点だと思います。例えば、科学塗

料

ですと、塗った直後が一番良い状態で、あとは徐々に劣化してしまうでしょう？でも自然塗料は、使うほどに深いあじわいが出てきて、それを楽しみながら生活することができますよ。素敵なことだと思います。扉を開けると、和風の落ち着いた雰囲気の良い玄関。

「リフォーム前と比べて、玄関はかなり広くなりましたね。木材は素材の良いものを使用しています。玄関のたたきには『御影石』を使いました。床や壁に使った木材は『天然杉』です。また、天井が 格天井(ごうてんじょう)と呼ばれる、非常に美しい格子文様になっています。」
玄関の横には奥様のご趣味の茶道で使用する『水屋(お茶用の台所)』を新たに作りました。



格天井



タイルの冷たいトイレも腰壁をつけてぬくもりを感じる場所になりました



◆リフォームして住みやすく間取りを変更！
夏の間に、冬に向けて「蓄熱式床暖房」も完備！

「住む人の暮らし方の変化により、リフォームをしていくのは賢い方法だと思います。今回のお宅では、間仕切りをなくして、全体的に広いオープンスペースが実現しました。また、建物全体の床に蓄熱式床暖房を施工していますから、冬には、24時間全室暖房という今まで体験したことのない、快適な暖かさを実感できると思いますよ。ちなみに床は スウェーデン・レッド・パイン という、天然のパイン材のフローリングです。綺麗な木目で温かみがありますね。とても人気のある木板です。」



蓄熱層が仕上がった所

今年の猛暑でも冷房の無い室内で仕事をしている大工さんは、大汗をかいていませんでした。実は、冬に暖房源となる蓄熱層のコンクリートに秘密がありました。このコンクリートが、暑い熱を吸い取る役目をしていました。表面温度は約22℃～23℃。窓を開けていれば、気持ちよく過ごすことができます。蓄熱層は、夏も快適な家づくりに役立っていました。新しい発見でした。

◆地震が来ても大丈夫。安全な家づくり！「オープン筋違い」のアイデア。

地震に対する不安を解消する為、耐震補強工事をしっかりと行いました。注目は「オープン筋違い」です。写真のように、“×”の形に見えるのが本来壁の中に入る筋違いです。
「この壁中にも、耐震補強のために“筋違い”を入れる必要がありました。でも、壁にせずに、こうしてオープンにしてみました方が、太陽の光が入って明るくなるし、自然の木のぬくもりも十分に感じる事ができるでしょう？」
発想を変えることにより、部屋を暗くしていた壁がなくなり、空間が広がりました。家の中が明るくなり、耐震補強もされた上に、デザイン性のある居心地の良い部屋にかわりました。



オープン筋違いのある部屋とつながっている、対面式台所。



リフォームで、安全性や機能性など、いろいろと改善されているのが良くわかります。快適で住み心地の良い家は、生活する人を癒してくれる場所となるでしょう。

築年数が経っているお宅ですと、建替えとリフォームとどちらが良いか？ とよく比較されます。しかし、一概にどちらが良いとは言えませんが、リフォームは健康的で快適な生活ができる家にするための方法だと思いま

幸せの黄色と 横浜ベイスターズカラーの家



可愛らしい黄色の壁と、キリッとした青の屋根が鮮やかなお宅。外壁の塗り替え工事とデッキの取り替え工事を完了したばかりです！ [鎌倉市笛田 G邸]

外壁をこの色に決めた理由を奥様に伺ったところ、「壁は、私が大好きな黄色にしたかったの。屋根の色は、主人が『横浜ベイスターズ』のファンで、『ベイスターズカラーにした

い！』

って、それでこんな組み合わせになったのよ(笑)。」とのことでした。

塗り替え前には、「ちょっと奇抜な色の組み合わせかしら・・・」と思ったのですが、終わってみたら、この2色の組み合わせは大正解。とても素敵なお宅に変身しました。

新しく取り替えた『サンデッキ』は、レッドシダーという木材に柿渋を塗装したもの。自然塗料がしっかりと馴染み、落ち着いた茶色が壁の黄色によく合っていました。



家の外壁の塗り替え時期は…？

塗料の性能や、その家がどういった環境(日当たりや海に近いなどの場所条件)にあるかにより、壁の劣化の速度は違ってきます。また、安いだけの塗料ですとその劣化も早くなりますので、一概に塗り替え時期の目安は何年とは、言えません。

家のためにも、外壁が劣化するまえに、塗り替えを行いたいものですが、タイミングはなかなか分からないものです。

ます外に出て、自分の家の壁をよく観察してみましょう。モルタルがひび割れていませんか？ サイディングがへこんでいませんか？ 最後に、外壁を触ってみてください。その時、指に塗料の『白っぽい粉』がついてくるようだったら要注意。もう塗り替えの時期というサインです。表面が劣化している証拠です。ぜひ、試して下さい！

＜外壁の塗り替えや自然素材に関して、詳しい内容をお聞きになりたい方はご連絡下さい。＞

アンティークの魅力と



「アンティーク」の定義をご存じですか？ 一般的には、作られて100年以上が経過したものを意味します。アンティークの家具やジュエリー、陶器などは非常に貴重とされ高額で売買される事もあります。

「家」に対しても同じように、永く大切にすることを心がけたいものですね。



■編集後記

暑い暑い夏がやっと終わろうとしています。8月6日、東京ビックサイトで開催された住宅関連商品の展示会に、マイホーム学院の卒業生と一緒にに行ってきました。行列のできる住まいの博覧会というだけあって、最新の設備が整った商品や耐震補強に特化した出店が多く、大変勉強になりました。また、木材のコーナーでは、無垢の柱や板などいろいろな部材が展示してあり、値段の違いを目で確かめる事ができました。木材を使い分けることによって総檜の家も夢ではないことがわかってもらえたようです。実際に目で見ること、現物に触れることの大切さを痛感して帰ってきました。